

ねらい

四日市市では三重大学教育学部と協定を結び、教職員の専門性を高め、指導力向上を図ることをめざして、幼稚園・小中学校に大学の教官を招き、研修を行っています。

現状と課題

平成22年度三重大学教育学部との連携による研修活動

	特別支援	研究授業 〔教科〕	道徳	食育	あそび 保健体育	学びの 一体化	コミュニ ティスク ール	多文化共 生・日本 語指導	その他	合計
幼稚園	17	0	1	1	1	2	5	0	0	19
小学校	14	7	2	0	13	2	5	0	1	44
中学校	6	11	0	0	0	0	0	1	1	19
合計	37	18	2	1	14	2	5	1	2	82

取組成果は以下のとおりです。（※ 各校園からの声を一部抜粋）

- 専門的な知識の理解が深まったり技能が高まったりして、実践への活用が図られた。
 - ・ 本市の学校教育ビジョン「地域とともにつくる学校の推進・四日市市コミュニティスクール」において、継続的に派遣いただき、取組の方向性、評価についてご助言・ご指導いただいた。
 - ・ 配慮を要する子どもへの教師の関わり方について、具体的な場面で教えていただき、指導・支援に生かすことができた。
- 学力や「学び」の意味の理解が深まり、授業づくりに生かすことができた。
 - ・ 学び合いと深くかかわりあいのある「問題解決発見学習」について、グループワーキング、ワークショップの手法を使って講演していただいた。
 - ・ 「学び合い」についても、新しい授業づくりの視点としての助言により研修を深めることができた。
- 継続的な派遣により子ども理解が深まるとともに、保護者との関係構築に役立った。
 - ・ 継続して来ていただいております、学校や児童の様子をよくわかっていただいているので、前年度からの成長を含めてお話を聞かせていただくことができた。
- 授業研究会、研修会の体制が改善された。
 - ・ 学習する上で「何のために学習・活動しているのか」など、学習の意味を獲得させることが大切であるといった視点から、授業のポイントが確認でき、今後の研修会のあり方を見直すことができた。
 - ・ ビデオ研修等の研修の方法論や来年度以降の方向性について、転換を図ることも考えていく必要があるのではないかとの示唆をいただいた。ぜひ来年度以降も指導・助言をお願いしたい。

今後の方向性

- 大学との連携による研修が定着してきている学校が見られます。これらを継続するとともに、学校づくりや食育・日本語指導に関する研修など、新たな分野でも連携できるよう努めます。
- 教職員の指導力向上に向け、講義だけでなく、研修の方向性や具体的な指導についての検討の場でも、連携することによる系統的な指導を受けるための方策を探っていきます。